

日吉大社自然観察倶楽部通信

No.22 日吉溪谷 心を癒す森歩き

H26年9月28日

日吉大社の奥には、大宮川の素晴らしい溪谷が広がっています。普段は立ち入り禁止ですが、今回は日吉大社の許可を得て、日吉溪谷に初めて入りました。何回も雨で流れていた企画ですが、今回は天気にも恵まれ、7名で出発しました。

西本宮を出発し、木馬道(きんまみち)を登ります。この道は昔、木を切り出して運ぶための道で、木がたくさん転がっていたようです。昔の人々の生活に思いをはせながら進むと、川原に出ました。エゴマやマツカゼソウといった白い花が出迎えてくれました。



ここから、ネイチャーゲームの開始です。どんな音が聞こえるか、じっと耳を澄ませます。最初は川の音だけでしたが、次第に鳥の声、風の音やカエルの鳴き声もかすかに聞こえました。

続いては、聴診器を使って、木の音を聞きました。(写真左) 「コー」「ザー」といった音が聞こえます。木が水を吸い上げる音なのか、風で木が揺れる音なのか、または、地面の振動かも知れません。この場所と一体化しているような気持ちになるから不思議です。

先に進むと、大宮川が間近に迫ってきました。よく見ると、川岸には鹿の足跡も残っています。以前、日吉溪谷は滝を見ることが出来る人気のルートだったそうです。今、自由に滝を見て回れるのは鹿ぐらいなのでしょう。建設現場に使われるような橋もありますが、しっかりした道もあるので、残念に思います。

次は、「森の色合わせ」というシートを使って、溪谷にどんな色があるかを探します。10分ほどかけて探した色が右下の写真です。日本人の色彩感覚の豊かさには驚きを隠せません。全18色が何色か分かるのでしょうか？

見つけた色は、

- ②緑青(ろくしょう) ③若草色(わかくさ)
- ④珊瑚色(さんご) ⑦蒲公英色(たんぽぽ)
- ⑧鬱金色(うこん) ⑨鳥の子色
- ⑪飴色(あめ) ⑫鼈甲色(べっこう)
- ⑬消炭色(けしずみ) ⑱鈍色(にび)

です。葉っぱや木の実の色・河原の石もありました。探してみると、ごく限られた場所からもいろいろな色が見つかります。

後で、紅葉した葉から⑥茜色(あかね)を見つけることが出来ました。



さらに道を進んでいくと、川幅の広い所に出ました。靴を脱いで、裸足で大宮川を渡ります。(写真右) 冒険のような気分を味わいながら、上流へ向かいます。最初、ひんやりと気持ち良さが足に来ますが、1分もしないうちに、冷たくなってきました。自然を甘く見てはいけないということなのでしょう。ただ、景色は最高です。

川を越えると、木の実を大量に発見しました。この辺りに生えているオニグルミの木の実です。(写真左下) この食べ方はリス



のもので、きれいに2つに割ってから食べるようです。辻田先生によると、この辺りでニホンリスを見たことがあるそうです。

自然と視線が上向きになりながら(リスを探しながら)道を進むと、平坦な広い林道に出ました。大宮川林道です。景色が一変、快適な林道歩きです。

林道から行者道を登る頃には、お腹の時計が12時を指し始めました。八王子山方面へと向かい、鉄塔を越えます。鉄塔を下がったところで、待望のお弁当の時間です。実は、お弁当を頂いた場所は、次のイベント「**11/2 奥総社参拝**」

の近くです。比叡山の開祖である最澄さんが山に籠った場所としても有名ですが、最近建物が再建されました。歴史に興味のある方は、是非、ご参加ください。

体力を回復した後、神宮寺から八王子山まで歩きます。見晴らしが良い眺めに、参加者から歓声が上がります。十分に景色を堪能し、心も回復し、気持ち良く日吉大社まで下りることが出来ました。参加した皆さんも同じ思いであれば幸いです。

☆ 観察したもののリスト

2014.9/28 日吉溪谷・
大宮川林道・八王子山

木：タブノキ・カゴノキ・オニグルミの実・
イズセンリョウの実

草：エゴマ・マツカゼソウ・オタカラコウ・ヒヨドリバナ
アキノキリンソウ・ツルニンジンの花・
ミヤマカタバミの実・(ヒノキゴケ)

キノコ：ヒナツチガキ・ケショウハツ

動物・昆虫：ジョロウグモ・タゴガエル・ミドリヒョウモン・
キボシアシナガバチ



オタカラコウの花